



4年振りの「福祉バザー」大盛況！

会場の市津公民館では様々なコーナーが設けられました。写真はそのうちのひとつ「食器コーナー」です。地域のボランティアの方々による丁寧な作業により、一つ一つの値付けがされています。

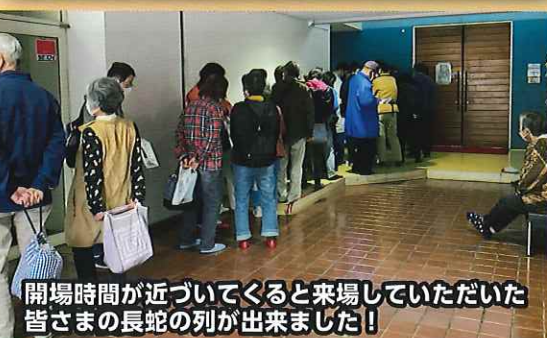
今回の「福祉バザー」実績

献品物売上金額（物品数 2,028点）
計 215,350 円

寄付金金額
計 227,064 円

合計 442,414 円

皆さまのご協力、大変ありがとうございました！



地元のお米や野菜、果物のご提供もありました！
 ごこも大人気コーナーの一つです。



今号もクイズに答えると
 プレゼントがもらえます！
 詳しくは本紙裏面を見てね！



4年振りの「市津地区福祉バザー」は盛況のうちに終了しました。皆さまのご参加・ご協力、大変ありがとうございました！

むらたがわ

市津地区の地域福祉活動広報紙

第24号 発行（年2回）市津地区社会福祉協議会
 令和6年2月5日
 編集・広報部 事務局・市原市下野400-1
 問い合わせ先 0436-371235

「賛助会員制度」へのご協力、大変ありがとうございます！

平素より本会の地域福祉活動におきまして、深いご理解と格別のご支援・ご協力を賜り感謝申し上げます。本年度も本会の賛助会員としてご加入いただいた皆さまには、厚く御礼申し上げます。ご協力いただきました会費は、市津地区の地域福祉の推進を担う本会の貴重な活動財源として有効に活用させていただきます。今後ともご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

市津地区社会福祉協議会 会長 泉 敬太郎



賛助会制度実績（一口 1,000円） **合計 630,000 円**

令和6年1月現在

「賛助会制度に賛同していただいた企業・団体様」

(有) 潤井戸タクシー 様 (有) 市津工業所 様 (有) 八幡屋 様
 (株) 長尾製缶所 様 (株) イチハラ管材 様 (有) 宮崎住建 様
 日本リノ・アグリ(株) 様 みかど化工(株) 様 順不同

一口 1,000 円（年額）にてご支援いただいた賛助会費は、次のような事業に活用させていただいております。

- * 独居高齢者への友愛訪問配布事業
- * 共生型サロン事業
- * 子育てママクラブ
- * 日常生活支援事業（市津まごの手、買い物ツアー、市津まごころ収集）
- * 研修事業



クイズ 「よつばちゃんファミリー大集合！」

今回はよつばちゃんファミリーが大集合です。この中でよつばちゃん「じゃない」人がいます。さて一体「何人」いるでしょう？ よ～く見ないと絶対間違えてしまいますよ！

何人見つけたかをハガキに書いてご応募ください。氏名、住所（プレゼント送付先）を明記して3月末日までにご応募を！

〒290-0154
 市原市下野400-1
 「市津地区社会福祉協議会」宛



「よつばちゃんアグリキーホルダー」を正解者から抽選でプレゼント！

～ 広報部 編集後記 ～

今号も最後までお読みいただきありがとうございました。コロナ禍の自粛ムードもひと段落し、市津地域の様々な団体による福祉活動も活発化してまいりました。本年度はお祭りをはじめとする地域イベントも再開され、賑やかな街が戻ってきたようです。各団体の皆さまにはお多忙の中、今号も記事執筆にご協力いただき大変感謝しております。

すべてのお問い合わせ窓口は...

市津地区社会福祉協議会

〒290-0154 市原市下野400-1

毎週 月曜日・水曜日 10時～12時

電話・FAX 0436-37-1235

地域の諸団体の活動のようす。

市津地域の福祉のために活動する住民ボランティアの各代表の皆さまからの寄稿

市東第二小区小域福祉ネットワーク より

会長 石田 陽司

一昨年の12月、当ネットワークの歳末助け合い運動として「丸山会」の皆さまによる三味線演奏会を開催致しました。たくさんのご来場があり、盛況のうちに終えることができました。ご来場の皆さま、並びにご協力者の皆さま、大変ありがとうございました。

今年度は、市原地域リハビリテーション広域支援センターの作業療法士さんに依頼してスポーツタオル(イラスト入り)を使用しての健康維持と健康増進を兼ねた「タオル体操」を実施いたしました。市東5町会から多くの方々が参加され、講師の巧みな話術による笑いの中、約1時間の運動を終えました。参加された皆さまが少しでも元気で、健康でいられますように次回も企画いたします。ご参加、お待ちしております。



タオル体操で健康維持を!

湿津小学校区小域福祉ネットワーク より

会長 近藤 敏子

赤い羽根共同募金歳末助け合いの配分金を主財源とした「地域福祉事業」として、潤井戸新田、潤井戸団地、喜多中央、勝間、小田部の5会場にて今年度も「クリスマス会」を開催致しました。民謡、健幸(康)教室、健康体操、ゲーム等により、参加された皆さんの交流の輪を広げ、さらに参加者全員にアンケート調査も実施。地域課題やニーズの発掘を積極的に進めました。

令和6年1月には広報紙「きずな 第2号」を発行予定で、現在準備を進めております。こちらは昨年度発行された「きずな 第1号」です。



会長 大塩 順子

市東第一小学校区小域福祉ネットワーク より

当ネットワークは設立10年目を迎えました。今年度は例年の活動の他に、この地域の防災に関する「市東第一小学校区 地域防災計画」への協力を開始。避難所の運営の基礎固めを始めたところです。また、市東中学校の「制服リユース」活動への協力も始めました。地域の皆さまのご協力を是非お願いいたします。

昨年12月には地域福祉支援事業として「日常生活支援」を実施、共生型サロンも毎月開催しております。詳しくは2月発行予定の広報紙「よつば」をご覧ください。

これからの予定としては、3月10日(日)に瀬又正蓮寺に於いて「笑う門には福来たる 第2回落語を楽しむ会」を実施いたします。当ネットワークの該当地域の方々のご来場、お待ちしております。

昨年12月、「日常生活支援」屋外活動中の様子→



ある日の「市津地区社協」

写真は「チェーンソーによる伐木等の業務に係る特別教育」を受講している「まごの手支援員」の皆さんの様子です。この特別教育に携わっていらっしゃる押沼の小池康洋先生に講習を開いていただきました。地区社協で実施しているまごの手で使用するチェーンソーの取り扱い方、危険性を十分学べた2日間でした。



青少年相談員連絡協議会 市津支部 より

12月3日、臨海体育館にて連協の行事となる「青少年のつどい大会小学生クイズ王決定戦」というイベントが開催、大盛況でした。令和6年度には相談員発足60周年記念行事として「小湊鉄道貸切トロッコ列車にて行うクイズ大会」も予定されています。また、市津地域の各種団体開催行事のお手伝いとしても活動に参加することが多く、関わっていただく皆さまには大変感謝しております。

副支部長 星野 剛

←小湊鉄道トロッコ列車。ここでクイズ大会が予定されています。



市津地区民生委員・児童委員協議会 より

「視察研修旅行」

左の写真は、昨年12月5日(火)、当協議会で実施した「東京消防庁本所防災館」での研修後の集合写真です。「震災体験ビデオ」「建物火災時の煙体験」「救命処置(AED)」「消火訓練」「震災時の震度体験」等、様々な研修カリキュラムを修了し、非常に良い勉強となりました。今年は年明けすぐに「令和6年能登半島地震」が発生し、被災地域では甚大な被害と尊い命が失われました。民生委員児童委員による高齢者や子ども等の災害弱者を日頃から訪問する「見守り活動」は、今回の研修と災害を通して地域住民の一助になるであろうと確信したところです。

会長 片岡 仁



市津地区社会体育振興会 より

子どもから高齢者まで楽しめる市民体育祭、豊かな自然の中を散策する歩け歩け大会、パラリンピックでお馴染みとなったボッチャ等の軽スポーツ大会、年2回開催しているグランドゴルフ大会など、スポーツを通じて地域の皆さまと交流を深めながら健康増進に繋がる行事を季節ごとに開催しています。皆さまも健康のため、交流のため、是非参加してみませんか?

会長 高浦 康夫



←4年ぶりに開催した市民体育祭での「玉入れ競技」の様子です。

子育て家庭支援員 市津支部 より

子育て家庭支援員とは市長から委嘱を受けた制度ボランティアです。活動内容は以下の通りです。

- 概ね4ヶ月児のいる家庭を訪問し、子育て支援関連のリーフレット等で子育て情報を提供。
- 市原市こどもフェスタにて、毎年1回の「1日限りの手作り遊園地」開催。
- 市津公民館で開催している「子育てママクラブ」への協力。

市津支部 支部長 妹尾 美智代

「子育て家庭支援員」

として

一緒に活動してみませんか?



子育て家庭支援員の市津地区の定員は「9名」です。しかし現在活動中の方々は「計7名」と、定数に満たない状況です。活動に賛同して頂ける方がいらっしゃいましたら、是非ご協力をお願い致します。

(詳しいお問い合わせは、市津地区社協まで。)

青少年育成市津地区民会議 より

昨年の11月25日、ゼットエー武道場大道場にて、「市原市青少年健全育成推進大会」が開催されました。令和4年度地区民会議感謝状贈呈式とともに、少年の主張表彰、青少年の非行防止に関する作品の表彰、小学生の主張発表、中学生の意見発表も行われました。中学生の意見発表では市東中学校の2年A組の相馬志保さんが「私とあなたとSNS」というタイトルで最優秀賞を受賞、大舞台上で堂々とした意見発表をされました。小学生、中学生とも心に残る素晴らしい内容でした。大会後半は袴田忍講師による「子どものSOSをキャッチする 感じる方法」という題目の講演が行われ、300人程が参加されました。

会長 高浦 重晴

←壇上の相馬志保さんと、本誌に頂いたコメント。

「まさか最優秀賞がとれると思っていなかったもので、とても嬉しかったです。」

